

**問** 鹿角の経済を回していくため市長が旗振り役となり消費喚起を発信すべきでは。

**答** 令和3年10月の記者会見で、市内での会食や買い物等と呼ばれていたが、感染予防に配慮しながら積極的に地元で消費するようこの場でもお願いする。

## 新型コロナウイルス感染症関連への対応について

**問** コロナ禍で外食や旅行ができず、蓄えられた強制貯蓄が一気に動き出すことが予想されるが、この流れを引き込む戦略的施策をG・O・T・ラベルの再開に向けて早急に実行する必要があると思うが考えを伺う。

**答** ヘリテージ・ツーリズム推進事業により観光資源の磨き上げを進めるほか、市内での周遊を促進する取り組みやリピートにつなげられる仕掛けづくりについて、観光推進ミーティング等を通じ、関係事業者と意見交換しながら、効果的な取り組みを展開していく。

## 降雪期における高齢者の生活支援について

**問** 高齢者への除雪支援について、あらゆる角度から問題点を解決しながら、さらなる除雪支援が必要だと思うが考えを伺う。

**答** 高齢者等住宅除排雪支援事業、軽度生活援助サービスによる支援に加え、社会福祉協議会による除雪ボランティア事業を行っているほか、民生委員や地域包括支援センターの職員が日ごろから状況を確認し申請サポートも行っている。引き続き安心して冬季節を過ごすことができるよう取り組んでいく。

栗山 尚記 議員  
(鹿真会・公明)

### 質問した項目

- 新型コロナウイルス感染症関連への対応について
- 世界の潮流となった脱炭素社会へのシフトに向けた鹿角市の取り組みについて
- 花輪線の路線維持・利用促進について
- 降雪期における高齢者の生活支援について



録画配信はこちらから

**問** 高齢者福祉タクシー券の対象者の拡充や交付枚数の増加はできないか。

**答** 今年度から在宅で生活する80歳以上で家族が自家用車を使用していない方を対象に制度拡充を図っている。引き続き利用枚数の緩和など、支援の拡充を検討していく。

## 鹿角市の農業について

**問** 米価が大きく下落しているが、対策は考えているのか。

**答** 市ではコロナ禍による外食需要の減退を背景に、昨年度から米価下落の状況を見据え、主食用米から飼料用米などの新規需要米への作付誘導や高収益作物への作付転換に加え、ナラシ制度や収入保険への加入も促し、収入確保策を講じてきた。しかし、長引くコロナ禍で概算金は予想以上に下落しているため、今後は国や県の動向にも注視しながら、次期作への支援を検討していく。

浅石 昌敏 議員  
(誠心会)

### 質問した項目

- 高齢者福祉施策について
- 鹿角市の農業について
- かつの厚生病院への財政支援について
- 関市長の公約について

**問** 今年度のスマート農業推進事業の概要と進捗状況について伺う。

**答** 昨年度からスマート農業技術の普及・推進に着手しているが、実証段階の機器については、導入の可能性を生産現場で確かめることが重要であることから、令和3年3月に設立した、鹿角市スマート農業推進協議会において、専門的な見地から実証すべき技術を選定し、実証試験を行うこととしている。

今年度は、ハウストマトを対象にAIかん水施肥システムの実証実験を実施し、トマト生産者部会と協議会で実証結果の報告会を行う予定としている。



録画配信はこちらから